



2019年 4月 24日

各位

上場会社名 イビデン株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 青木武志
(コード番号 4062 東証、名証第1部)
責任者の役職氏名 経営企画部長 廣瀬康人
電話番号 (0584) 81-7973

「当社取締役会の実効性の分析・評価」結果の概要について

2019年4月24日

イビデン株式会社

当社においては、取締役会全体が実効性を持って機能しているかを検討し、その結果に基づき、問題点の改善や強みの強化等の適切な措置を講じていく継続的なプロセスにより、取締役会全体の機能向上を図ることを目的とし、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しております。

この度、2018年度の分析・評価が完了しましたので、以下にてその概要を開示いたします。

1. 評価の方法

(1) 社外を含む全ての取締役(監査等委員を含む)に対し、評価の主旨等を説明の上、取締役会事務局(経営企画部)が作成した「2018年度 取締役会実効性評価アンケート」に基づき、2019年2月から3月にかけて社外を含む全取締役(監査等委員を含む)が自己評価を実施し、その結果について、2019年3月29日開催の取締役会にて議論し、決議いたしました。

(2) 評価項目

評価を実施した大項目は以下の通りです。

- ① 議論・検討の実効性
- ② 監督機能の実効性
- ③ リーダーシップの実効性
- ④ 環境整備状況の実効性
- ⑤ 株主・ステークホルダーへの対応の実効性
- ⑥ 取締役会の構成等に関する実効性

(3) 評価方法

- ① 調査は記名方式とした。
- ② 評価尺度は5段階評価とした。(5・・・優、3・・・可、1・・・不可)
- ③ 集計は社内取締役と社外取締役・常勤監査等委員を区別して実施
- ④ 分析は、評価の低い項目及び社内取締役と社外取締役・常勤監査等委員の評価結果のギャップが大きい項目について、重点的に実施した。
- ⑤ 評価・分析結果を取締役に開示し、取締役会として「取締役会全体の実効性評価結果」を決議した。

2. 分析・評価結果の概要

各取締役による評価アンケートの集計の結果、全ての大項目(上記 1. (2)に記載)について、社内取締役及び社外取締役・常勤監査等委員共に、3.0 以上の評価点となっており、当社取締役会全体において、実効性はおおむね確保できていると分析・評価いたします。

なお、昨年度に課題として認識しました「(社外取締役・監査役に対する)会日に十分先立った資料配付」については、従前より実施しております取締役会開催前の事前説明に加え、2018 年度において、セキュリティが確保されたファイル共有システムを導入し、なるべく早い段階で情報共有を図り、従前に比べて十分な事前検討が可能なプロセスを構築しました。また、「最高経営責任者等の後継者計画に対する監督」については、(任意の)指名・報酬委員会の継続的な運用に加え、執行役員以上を対象とした役員トレーニング勉強会を2018年度中に3回実施し、経営者候補人材の育成に努めております。

一方で、主に以下の点につきましては、課題や工夫の余地が見られると認識し、重点的に対応してまいります。

(1) 認識した課題

1. (社外取締役・監査役に対する)会日に十分先立った資料配付
2. 社内における多様性の確保に向けた取り組み

(2) 当社の対応

1. 前述の通り、2018 年度におきまして、セキュリティが確保されたファイル共有システムを利用した事前情報共有のプロセスを構築しております。今後は、構築したプロセスを有効に活用し、重要な議案については、骨格が確立した段階で、取締役会資料及び関連する社内資料を共有することで、十分な事前確認が可能となるようにしてまいります。
2. 当社においては、2017 年度より「女性活躍推進ポジティブアクション活動」(以下:活動)を開始しております。女性管理職(課長級以上)比率の向上に向け、その母集団となる係長級の女性社員の育成・登用に向けた支援に加え、対象となる女性社員の上司への意識教育を積極的に進めております。活動の結果、活動開始前(2016 年度)は、女性の管理職(課長級)0 名、同:係長級 3 名でしたが、2019 年度(2019 年 4 月 1 日時点)においては、管理職(課長級)2 名、係長級 11 名となっております。今後も、女性だけでなく外国人やベテラン社員、更には障がい者も含めた多様な人材が、一人ひとりの強みを生かし、生き活きと活躍できる職場環境づくりを積極的に進めてまいります。

当社取締役会におきましては、今回の評価結果及び課題への対応を踏まえ、今後も実効性の向上を図ってまいります。

以 上